

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	普通財産維持管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	財産活用課			
施策	6-2	健全で効率的な行政運営		主管課長	石川 博一			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	普通財産の土地	意図	土地の適正管理
事業内容	柵の設置及び補修、草刈並びに不法投棄防止等、普通財産の適正な維持管理を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	事業開始当時は、普通財産の把握が出来ていなかったが、普通財産台帳の整備を図り、利用状況を把握することにより、適正な維持管理に努める。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	草刈面積	30,883	20,001	17,392	m <sup>2</sup>	↓↓↓
②	有償貸付面積	21,971	22,501	20,771	m <sup>2</sup>	↔↔	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
未利用地の土地利用を推進し草刈等の維持管理を削減していく。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,788,781	10,334,480	9,583,863
事業費(b)(円)	4,788,781	3,622,480	2,991,863
うち一般財源	4,788,781	3,622,480	2,991,863
職員給与費(c)(円)		6,712,000	6,592,000
人役・職員(人)		1.00	1.00
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	売却及び有償貸付を推進することにより未利用地の草刈、柵の修繕対象の減少を図る。	③取組における課題(Check)	未利用地についての有効活用及び維持管理費。
②H30に実施した取組(Do)	未利用地の有効活用を推進するため、売却及び貸付を実施し、維持管理費の削減を図った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	未利用地の土地利用を推進し草刈等の維持管理費の削減に努める。